

救急看護とは??

～分野説明～

症状変化(慢性期疾患含む)・急変時対応・急性期看護・災害対応・虐待を得意とする分野です。緊急度や重症度に応じた対応はもちろんのこと、家族看護・自宅管理・予後を考えて対応を年齢問わず対応します。

～コンサルテーション例～

災害対策	<ul style="list-style-type: none">・地震が起きたら？・火災が起きたら？・自分や患者さんをどう守る？
症状変化	<ul style="list-style-type: none">・当該科以外の疾患は自信がない。・医師へ報告がうまくできない。・緊急性があるのか？
院内急変患者対応	<ul style="list-style-type: none">・患者急変時の優先順位は？・院内急変患者応援要請症例の振り返り。
急変時処置	<ul style="list-style-type: none">・物品の使用 방법에自信がない。・部署にない機器類はどこにある？・緊急時の検査って何がある？
患者家族対応	<ul style="list-style-type: none">・緊急入院で混乱が強い・・・。・緊急処置について理解できていない。・延命処置と救命処置の違いは？・DNAR とは？
自宅管理	<ul style="list-style-type: none">・自宅で予期せぬ症状が出現した患者さんの対応は？・症状悪化時救急車と自家用車どちらで来院するの？

上記以外でも現場で生じた疑問や不安・研修会などをご相談ください。

救急看護認定看護師 役割と活動内容

● 役割

- 実践** ・急性期・急変時・災害時に置かれている患者や家族の状態を迅速にアセスメントし、的確な専門的看護ケアを提供する。
- 指導** ・急性期・急変時・災害時にある患者や家族の看護において、看護師が看護展開・実践がしやすいよう実践を通じた指導を行う。
- 相談** ・AMG 内のあらゆる職種が抱える急性期看護・急変時対応・災害時対応に関する疑問や問題に対して相談を受ける。

● 活動内容

1)実践

- ・受診患者や入院患者の状態を迅速かつ適切なアセスメントを行い、緊急度に合わせた看護を実践する。
- ・各施設の院内急変症例を振り返り、症状変化発生時の対応評価と急変予測能力の向上を図る。
- ・患者家族の急性ストレス反応をアセスメントし心理的援助を行う。
- ・災害対策委員会の下に災害マニュアル見直しの助言や、減災のための各部署のアクションカード作成の助言を行う。
- ・受診患者の身体的・心理的アセスメントにより、虐待の発見や発見後の迅速な対応を行い患者の安全を確保する。

2)指導

- ・看護職者に対して急性期看護や症状変化時の事例を用い、看護展開・実践ができるよう指導を行う。
- ・看護職者に対し、患者や家族の急性ストレス反応についてのアセスメントや対応指導を行う。
- ・看護職者に対し、受診患者の虐待を見逃さず対応できるよう身体的・心理的アセスメント指導を行う。
- ・看護職者以外の医療従事者に対し、異常発生時の対応指導を行う。
- ・院内における専門コースの中で、急性期や症状変化時の対応に関するアセスメント手法の指導を行う。
- ・院内における専門コースの中で、災害看護を取り入れ災害の備えに関する技術指導を行う。
- ・全ての職種に対し、災害に対する備えや災害時の対応に関する指導を行う。

3)相談

- ・あらゆる職種が抱える急性期や症状変化時の対応や疑問について相談に応じる。
- ・看護職者が接する患者や家族の急性ストレス反応に関する問題について相談に応じる。
- ・全職種から災害の備えや災害時の対応についての相談に応じる。
- ・虐待に関わった人々の対応や、疑問などについて相談に応じる。
- ・相談者自らが解決の方向性を見出すことが出来るよう相談に応じる。